



白金フリーカーボン触媒ワークショップ 実施報告

主催： TIA かけはしプロジェクト「白金フリー燃料電池カーボン触媒イノベーション」

共催： TIMS、CiRfSE、日本化学会、触媒学会界面分子変換研究会、日本表面科学会触媒表面科学研究部会

趣旨： 燃料電池カソード用触媒として機能する窒素ドーブカーボン材料の研究が世界的に白熱している。しかし、その触媒機能については不明な点が多い。本ワークショップでは、窒素ドーブ触媒の基礎および応用に関する講演を通して、触媒機能に関する情報交換を行う。

日時： 平成 28 年 10 月 31 日（月） 13:00～18:30

会場： 筑波大学 大学会館 国際会議室

参加費： 無料

参加人数： 50 名 （内訳 一般 36 名、学生 14 名）

13:00-13:10 あいさつ

13:10-14:10 豊開 真之 氏（帝人）

「含窒素高分子から作製される燃料電池カソード用炭素触媒」

14:10-15:10 山田 泰弘 氏（千葉大学）

「含窒素ナノカーボン材料の構造解析と応用」

15:10-15:30 休憩

15:30-16:30 羽鳥 浩章 氏（産総研）

「キャパシタ材料としての窒素ドーブカーボンとその電気化学特性」

17:00-18:30 懇親会（会場：総合研究棟 B108、参加費 1,500 円）

世話人： 筑波大学数理物質系 中村 潤児 ([nakamura \[at\] ims.tsukuba.ac.jp](mailto:nakamura@ims.tsukuba.ac.jp))

